



コロナ、報道、国産ワクチン その裏側を探る

日時 7月20日(木)17:00～19:30 (16:30開場)

場所 グローバルホール

(駿河台キャンパス グローバルフロント1階)

※Zoomによる同時配信を行います。

参加申込は
[コチラ](#)→



世界を揺るがせた新型コロナウイルス禍は迅速なワクチン開発の恩恵もあり、一時の危機的な状況を脱したかのようにだが、その陰で、華々しく打ち上げられた「国産ワクチン」計画は、莫大な補助金と株の乱高下を引き起こした末に、昨年末にフェイドアウトした。

- ・当初から複数の専門家が疑問を呈していたこの「国産ワクチン」とは何だったのか？
- ・報道はどのような役割を果たしたのか？
- ・次なるパンデミックに日本は備えられるのか？

本研究科フォーラムでは、この問題を当初より注視している各方面の専門家をお招きし、徹底的に論議する。院生・学部生にも積極的に参加してもらいたい。

【タイムスケジュール】 ※時間は前後する可能性があります。

- 17:00～17:05 開会挨拶
- 17:05～18:05 問題提起 (各パネリストより)
- 18:05～19:20 ディスカッション&質疑応答
- 19:20～19:30 全体総括および閉会挨拶

【パネリスト】

植地泰之 (医師、東中野セント・アンジェラクリニック院長、元アストラゼネカ株式会社執行役員、元グラクソ・スミスクライン株式会社ワクチン開発担当副本部長)

海堂 尊 (作家、医学博士、福井県立大学客員教授)

川上浩一 (理学博士、国立遺伝学研究所教授、専門は遺伝学・分子生物学)

吉田統彦 (衆議院議員、医学博士、昭和大学医学部救急医学客員教授、愛知学院大学歯学部眼科客員教授)

【コメンテーター・進行】

八木啓代 (健全な法治国家のために声をあげる市民の会代表)

【コーディネーター・司会】

江下雅之 (明治大学情報コミュニケーション学部教授)